

令和5年度 シラバス（建築計画）

学校名	課程	校長名	教頭名		担当者名
沖縄県立 美里工業高等学校	全日				
科目名	単位数	標準単位数	対象学科・コース・類型・系列	対象学年・組	必修・選択
建築計画	3	3～8	建築科	1年5組	必修
使用する教科書					
実教出版 工業749 建築計画					

特記事項 ※標準単位数を下回る場合の理由とその対応策等、必要に応じて記載する欄とする。

科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・建築計画とは、強・用・美を備えた建築物を企画・計画することであり、建築主の意図や要求を受けて、専門的な立場からそれを分析・整理するとともに、目的とする建築物を具体的に立案するために必要な調査・検討を行い、構想を練ることをいう。 ・建築と環境、住宅の計画、各種建築物の計画、都市と地域の計画、建築設備の計画、建築の移り変わりなどに関する基本的な知識と技術を身につけさせる。 ・各分野の知識と技術を活用し、環境に配慮した安全で快適な建築物を合理的かつ創造的に計画する力を身につけさせる。
------	--

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	建築と環境、住宅の計画、各種建築物の計画、都市と地域の計画、建築設備の計画、建築の移り変わりなどに関する基本的な知識と技術を習得し、建築物を合理的かつ創造的に計画する力を身につけている。	建築物の計画に関する課題を見だし、各分野の知識・技術を活用して、科学的な根拠に基づき思考・判断し、その解決策を的確に表現する能力を身につけている。	建築計画の各分野に興味・関心をもち、環境に配慮した安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。

年間指導計画表

月	予定 時数	実施 時数	指導項目	指導内容（教科書）	評価の観点			評価規準・評価方法			振り返り
					知	思	態	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
4	2		「建築計画」を学ぶにあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・建築計画とは ・建築計画の課題 ・建築計画で学ぶこと 	○	○	○	建築計画の意義や過程をはじめ、地球環境への配慮やユニバーサル社会の実現などの課題について理解している。	建築計画の意義や過程をはじめ、地球環境への配慮やユニバーサル社会の実現などの課題について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	建築計画の意義や過程をはじめ、地球環境への配慮やユニバーサル社会の実現などの課題に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。	※年度末のPDCAサイクルのための点検記入欄
	6	第1節 建築と環境の概要		・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風の基本的な事項、必要換気回数の計算方法などを理解している。	・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風の基本的な事項、必要換気回数の計算方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風などに関心をもち、必要換気回数の計算方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。					
5	5			第2節 屋外環境と室内環境	○	○	○				
	5	第3節 換気と通風									

月	予定 時数	実施 時数	指導項目	指導内容（教科書）	評価の観点			評価規準・評価方法			振り返り
					知	思	態	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
6	6		第1章 建築と環境	第4節 伝熱と結露	○	○	○	・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、結露防止や熱貫流率の計算方法や日影図の作成方法を理解している。	・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明に関心を持ち、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などの理解に意欲的に取り組んでいる。	
				第5節 日照と日射							
	第6節 採光と照明										
7	5		第7節 色彩	○	○	○	・色彩と音響の基本的な事項をはじめ、色彩計画の進め方や騒音防止、最過残響時間の計算方法などを理解している。	・色彩と音響の基本的な事項をはじめ、色彩計画の進め方や騒音防止、最過残響時間の計算方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・色彩と音響に関心を持ち、色彩計画の進め方や騒音防止、最過残響時間の計算方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。		
	4		第8章 音響								
	3										
9	5		第1節 住宅の意義	○	○	○	・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方のほか、計画上の特質などを理解している。	・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方のほか、計画上の特質などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方に関心を持ち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。		
	6										
10	12		第2章 住宅の計画	第2節 住宅計画の進め方	○	○	○	・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画、構造・設備計画、デザイン・色彩計画の留意事項をはじめ、設計への具体化などを理解している。	・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画、構造・設備計画、デザイン・色彩計画の留意事項をはじめ、設計への具体化について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画、構造・設備計画、デザイン・色彩計画に関心を持ち、設計への具体化などの理解に意欲的に取り組んでいる。	

月	予定 時数	実施 時数	指導項目	指導内容（教科書）	評価の観点			評価規準・評価方法			振り返り		
					知	思	態	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度			
11	6			第3節 全体計画				・独立住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法などを理解している。	・独立住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・独立住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などに関心をもち、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法の理解に意欲的に取り組んでいる。			
	6												
12	4			第4節 各部の計画 第5節 バリアフリーとユニバーサルデザイン				・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準を理解している。	・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・バリアフリーやユニバーサルデザインに関心をもち、バリアフリー住宅の計画上の基準の理解に意欲的に取り組んでいる。			
	4			■住宅の計画例 ■住宅の計画事例				・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法、実践的な計画の進め方を理解している。	・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法、実践的な計画の進め方について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法に関心をもち、実践的な計画の進め方の理解に意欲的に取り組んでいる。			
1			第3章 各種建築物の計画	第1節 集合住宅の計画				・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質などを理解している。	・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類に関心をもち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。			
				第2節 事務所の計画				・集合住宅や事務所、小学校の配置計画、平面計画、立面・断面計画の留意事項をはじめ、設計への具体化などを理解している。	・集合住宅や事務所、小学校の配置計画、平面計画、立面・断面計画の留意事項をはじめ、設計への具体化などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・集合住宅や事務所、小学校の配置計画に関心をもち、設計への具体化などの理解に意欲的に取り組んでいる。			
				第3節 小学校の計画				・集合住宅や事務所、小学校の各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法を理解している。	・集合住宅や事務所、小学校の各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・集合住宅や事務所、小学校の各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置などに関心をもち、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法の理解に意欲的に取り組んでいる。			
				第4節 建築物の安全計画				・火災や地震などに対する防災計画や避難計画の基本的な事項と、日常災害を防止するための方策について理解している。	・火災や地震などに対する防災計画や避難計画の基本的な事項と、日常災害を防止するための方策について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	・火災や地震などに対する防災計画や避難計画の基本的な事項と、日常災害を防止するための方策に関心をもち、これらの理解に意欲的に取り組んでいる。			
2	6												
	6												
3	3												
	2												